

自動登録の事故照会「授精報告がありません」「在胎日数エラー」を回答する時は、以下のように記入や書類の送付をお願いします。

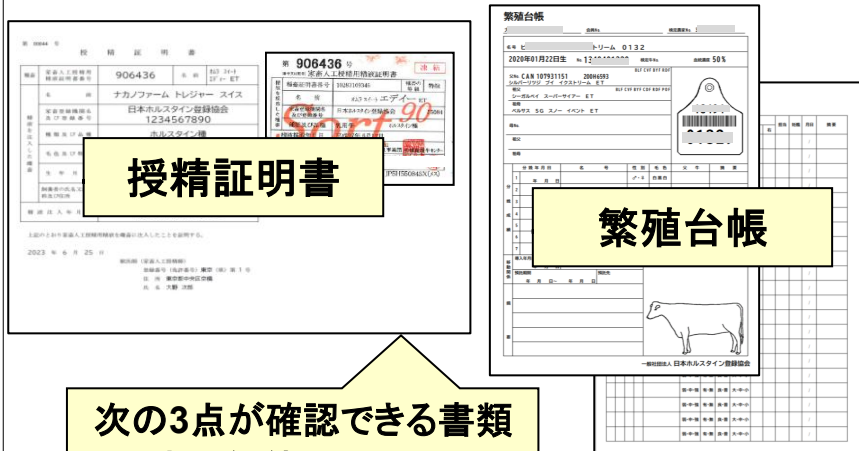
照会内容

授精報告がありませんでした。種雄牛登録番号・授精年月日を調査の上、授精内容が確認できる書類(授精証明書、繁殖台帳等)を送付願います(FAX可)。

回答方法 ①

授精証明書、繁殖台帳など、

「授精内容が確認できる書類」を事故照会用紙に添付して、FAX、メール又は郵送してください。



次の3点が確認できる書類

- ・母牛の個体識別番号
- ・授精日
- ・種雄牛の略号

回答方法 ②

下記の3パターンに該当すれば、事故照会用紙の左下欄を記入して、FAX、メール又は郵送してください。

(授精証明書、繁殖台帳等の添付は不要です)

①自家授精

②回答者と授精師が同一人物

③回答者と授精師が同一所属団体

事故照会用紙の左下欄を
すべて記入して送付
※次のページでもっと詳しく!

事故照会 再照会

自動登録

事故照会用紙の左下欄を記入する時は…

事故照会 再照会

この申込みは下記の事故で保証となっています。至急調査の上、ご回答いたします。
自動登録申込みの回答はFAXをご利用下さい。

照会年月日 **令和04年12月06日**

照会内容 **凍結**

申込者 **氏名** **中野太郎** **団体** **日本ホルスタイン登録協会**

会員番号 **94010-013-2-0** 団体コード **94000** 自動登録

申込種別 **血統** [申込年度 **2022**] 照会番号 **19760-0196**

申込牛 **品種** **ホルスタイン** 父牛 **登録番号** **72**

耳標番号 **72** 名号 **72** 胎牛 **胎牛番号** **94000006**

生年月日 **2022.11.19** 登録番号 **94000006**

産乳日数 **0** 胎牛 **72**

産乳日数 **0** 生年月日 **2020.12.02**

産乳の子牛ID **0** 牛種コード **94000006**

生年月日 **0** 牛種の分後日 **0**

回答年月日
回答者氏名・押印
忘れずに！

回答欄

回答年月日 **2026年3月3日**

回答者 **中野太郎** 印

自家授精もしくは授精師と回答者が同一人物または同一所属団体の場合
下欄に記入することで授精証明書等の書類提出が省略できます。

精液注入雌牛生年月日	2022 年 07 月 01 日
精液注入年月日	2024 年 08 月 06 日
精液注入時飼養者住所	
氏名	
家畜人工授精用 精液証明書番号 種雄牛登録番号 または略号	906436 55084
上記のとおり相違ありません。	2026 年 03 月 03 日
<input checked="" type="checkbox"/> 自家授精	獣医師・家畜人工授精師
<input type="checkbox"/> 授精師	所属団体
<input type="checkbox"/> 授精師	獣医師・家畜人工授精師名

自家授精なら
○かチェック

自家授精
(右側省略)

第 906436 号 凍結

家畜人工授精用精液証明書

種畜証明番号	10283109346	種畜の等級	特級
名前	オムラスイトエディ ET		
家畜登録機関名 及び登録番号	日本ホルスタイン登録協会		55084
種畜及び品種	乳用牛	ホルスタイン種	
精液採取年月日	平成27年6月12日		
種畜飼養者の住所 及び氏名又は名称	群馬県前橋市金丸町912 一般社団法人家畜改良事業団前橋種雄牛センター		
獣医師(家畜人工授精師)の 登録番号(免許番号)及び 氏名	第26354号		
			JP5H55084SX(メス)

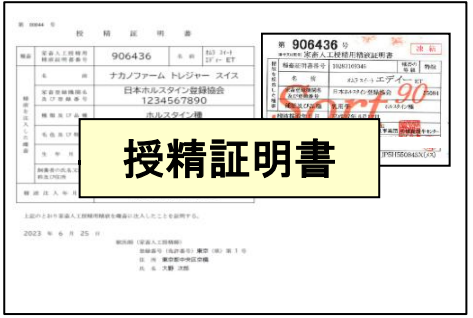
精液ラベルの
・証明書番号
・種雄牛の登録番号(又は略号)
を記入します。

在胎日数エラーで
「授精記録が誤っていた場合」は、どちらかで回答して下さい。



授精証明書、繁殖台帳など、

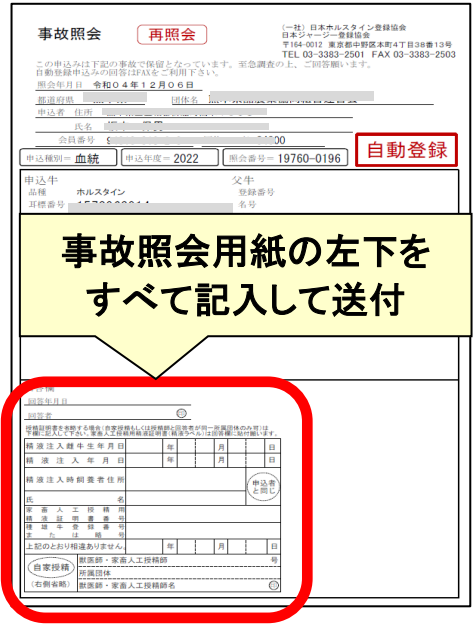
「授精内容が確認できる書類」を事故照会用紙に添付して、
 FAX、メール又は郵送してください。



- 次の3点が確認できる書類
- ・母牛の個体識別番号
 - ・授精日
 - ・種雄牛の略号

自家授精、回答者と授精師が同一人物又は同

一所属団体の場合は、提出書類を省略できます。
 事故照会用紙の左下に必要項目を記入に添付して、FAX、
 メール又は郵送してください。



在胎日数エラーで
「授精記録が正しかった場合」の回答①

・授精記録が正しく
在胎日数260～264日 もしくは 296～300日の場合

授精記録が正しいことを確認したら、
「早産」or「遅産」と回答欄に記入してください。添付書類は省略できます。

事故照会用紙に
記入して送付

事故照会 **再照会** (一社)日本ホルスタイン登録協会
日本ジャージー登録協会
〒164-0012 東京都中野区本町4丁目38番13号
TEL 03-3383-2501 FAX 03-3383-2503

この申込みは下記の事故で保留となっています。至急調査の上、ご回答願います。
自動登録申込みの回答はFAXをご利用下さい。

照会年月日 令和04年12月06日

都道府県 東京都 団体名 東京ホルスタイン協会の会員

申込者 住所 東京都中野区本町4丁目38番13号
氏名 山田太郎
会員番号 99999999999999999999

申込種別=血統 申込年度=2022 照会番号=19760-0196 **自動登録**

申込牛	父牛
品種 ホルスタイン	登録番号
耳標番号	名号
名号 ANP 22222222222222222222	略号
生年月日 2022.11.19	母牛
授精年月日	登録番号
在胎日数 日	名号
直近の子牛ID	生年月日 2020.12.02
生年月日	牛検コード
	牛検の分娩日

照会内容
40 授精報告がありませんでした。種雄牛登録番号・授精年月日を調査の上、授精内容が確認できる書類（授精証明書、繁殖台帳等）を送付願います（FAX可）。

追加記入欄
精液注入産牛生年月日 年 月 日
精液注入年月日 年 月 日
精液注入時飼養者住所
氏名
畜舎人工授精用
精液証明書番号
種雄牛登録番号
牛検コード
上記のとおり相違ありません
自家授精 獣医師・畜舎人工授精師
所属団体
(右側省略) 獣医師・畜舎人工授精師名

早産

自動登録・事故照会回答マニュアル

事故照会種類	エラーコード	照会内容	回答方法	事故防止対策
授精報告なし	E46	授精報告がありませんでした。種雄牛登録番号・授精年月日を調査の上、授精内容が確認できる書類（授精証明書、繁殖台帳等）を送付願います（FAX可）。	授精証明書や繁殖台帳などの写しをFAX/メール/郵送する。	授精の都度、データによる授精報告を行きましょう。
授精報告不備	E48	授精報告された父牛番号に該当牛がいません。種雄牛登録番号・授精年月日を調査の上、授精内容が確認できる書類（授精証明書、繁殖台帳等）を送付願います（FAX可）。		授精報告の際は、精液ラベルを確認して、正しい種雄牛の略号もしくは登録番号を報告しましょう。
在胎日数エラー	E23	在胎日数エラーです。生年月日と授精記録をご確認ください。授精記録が誤りの場合は授精証明書や繁殖台帳等、授精記録が確認できる書類を送付願います（FAX可）。授精記録が正しい場合は、授精履歴が確認できる繁殖台帳等を送付願います（FAX可）。	<p>①在胎日数265日未満および296日以上の場合 ⇒授精記録が正しい、かつ、在胎日数が260日～264日もしくは296日～300日の場合は、「早産」または「遅産」と記入してFAX/メール/郵送する。 ⇒上記以外で授精記録が正しい場合は、授精履歴が確認できる繁殖台帳などの写しをFAX/郵送する（授精証明書不可！！）。 ⇒授精記録が誤りの場合は、授精証明書や繁殖台帳などの写しをFAX/メール/郵送する。</p> <p>②在胎日数がかなり短いor長い場合は、小さくor大きく生まれたなどの分娩状況を記入してFAX/郵送する。</p> <p>③確認できない場合は親子判定を行う。</p>	正しい授精日の授精報告を行きましょう。また、早産や遅産の場合は予め、自動登録実施農家連絡書などでその旨を報告してください。
最終より一つ前の授精？	E23	報告された最終授精（授精日@@@@.@@.@@、♂@@@@）は在胎日数が短いので、それより前の授精（上記に記載した内容）で受胎した可能性があります。分娩状況を確認し上記の授精内容が正しい場合は回答日・回答者署名し本紙を返送下さい。誤りの場合は授精内容が確認できる書類（授精証明書等）を送付願います（FAX可）	分娩状況を確認して、 ⇒授精内容が正しい場合は、事故照会用紙に回答日・回答者署名しをFAX/メール/郵送する。 ⇒授精内容が誤りの場合は、授精証明書や繁殖台帳などの写しをFAX/郵送する。	正しい内容で授精報告を行きましょう。
牛群検定との生年月日不一致	E34	申込牛の生年月日と母牛の牛検の分娩年月日が相違しています。正しい生年月日を回答願います。	正しい生年月日と母牛を確認し、事故照会用紙に正しい生年月日を記入してFAX/メール/郵送する。誤った報告（検定もしくは個体識別情報）は修正する。	出生報告および牛群検定の際には、正しい内容を報告しましょう。
「本牛の出生日」と「母牛の前産分娩日」の矛盾	E33	申込牛の母牛は@@@@.@@.@@にホル雌牛（@@@@@@@@）を分娩しています。申込牛と前産不適合となりますので、母牛が相違していないか調査願います。	正しい生年月日と母牛を確認し、誤っている場合は個体識別情報を修正する。	出生報告の際には正しい内容、特に母牛が誤っていないか確認しましょう。複数の出生報告を同時に行う際には、情報が入れ違わないように注意しましょう。
本牛はRED？	E14	父母牛ともに赤白斑の場合は子牛も赤白斑と思われます。申込牛は赤白斑かどうかの連絡がありません。申込牛の斑紋について○を記入下さい ⇒（赤白斑である・赤白斑でない）	申込牛の斑紋を確認して、「赤白斑である・赤白斑でない」のいずれかに○を記入してFAX/メール/郵送する。	赤白斑の子牛が生まれたら「自動登録実施農家連絡書」または「補足情報報告システム」で報告しましょう。
母牛の転入報告なし	E80	母牛の個体識別情報に申込者への転入報告を行ってください。転入報告が確認できるまで申込みは保留となります。	母牛の転入報告を行う。	牛の異動の際には、必ず転出・転入報告を行きましょう。